

校舎長 × 合格者

～合格対談～

京都大学 文学部

下世古晋太郎くん (嵯峨野高校)

京都大学・文学部に合格した下世古さんは、高校では硬式野球部に所属。部活と勉強の両立を求めて河合塾マナビスへ。マナビスでの受験生活を京都駅南校の山口校舎長と振り返ってもらいました。

山口校舎長「京大合格、おめでとう！」

下世古くん「本当にうれしいですね。うれしいのとほっとしたのと両方です。」

山口校舎長「発表当日はすぐに連絡をくれましたね。発表前はドキドキしてましたか？」

下世古くん「前の日は意味もなく家の中を往復していました(笑)」

じっとしていられなくて。」

山口校舎長「今年の高三生はとにかく大変だったと思います。やっぱり学校の休校中はきつかったですか？」

下世古くん「部活ができないことが一番精神的にきつかったです。時間を決めて走ったり素振りしたりしてました。」



山口校舎長「休校中に手紙を出したけど僕はこの休校期間で合否が決まると思っていました。」

下世古くん「やっぱり家でやるのは塾でやるよりきつかったです。でも僕もここが分水嶺だと思って受験期間で一番エネルギーを注ぎました。」

山口校舎長「あの頃、『部活ができない分、勉強に打ち込みました』って言ってましたね。でも最後に部活の大会があると決まったときはうれしかったでしょ？」

下世古くん「はい、野球ができることが嬉しかったです。試合後に保護者しか入れないスタンドに挨拶に行ったときは本当に試合ができて良かったと思いました。」

山口校舎長「そして共通テスト初年度でもありました。」

下世古くん「共通テストはこわかったですね…。僕は記述のほうがやりやすかったので…。マークのギャンブル性というか…。本番の2週間前はとくに緊張しました。直前になると、『もうしゃーないな』という感じで落ち着きました。」



山口校舎長「本番はなんとかボーダーを死守しましたね。」

下世古くん「ホームルームで各科目を何点取るかという組み立てを教わっていたので心配はしていませんでした。ホームルームは『受験学の授業』だと思って聞いていました。おそらくあれがなくて、一人だけならいろんなことがおそろかになっていたと思います。」

山口校舎長「伝えたことをしっかり消化してくれましたね。」

下世古くん「マナビスでは映像授業で各科目の勉強を、山口先生から計画の組み立て方を学んで、受験に必要なことをすべて教えてもらえたと思っています。」

山口校舎長「映像授業で印象に残っている講座や先生はいますか？」

下世古くん「まずは総合数学L 5・6文系の広瀬先生ですね。受験勉強じゃなくて数学の面白さを教えてもらいました。それに1個教えてもらったことでいろんな問題が解けるという…。」

山口校舎長「広瀬先生は信者が多いんですね(笑)。その他はどうですか？」

下世古くん「玉置先生のハイレベル英文解釈です。京大の入試本番の英語の30点分はあの講座で取らせてもらいました！あと、京大の過去問研究講座は本当に充実していましたね。」

山口校舎長「最終的には大学別の対策が重要ですからね。京大過去問研究講座は日本一の京大対策だと思いますよ。」

山口校舎長「そして、いよいよ京大生ですね。」

下世古くん「今はやっとゆっくり本が読めるって感じですね。僕はとくに『これがやりたい』っていうものがなく受験をしたので、大学生になったらいろんな人といっぱい話して、人脈を広げて視野も広げたいと思います。」

山口校舎長「アルバイトはどうしますか？マナビスですか？(笑)」

下世古くん「大学生活が落ち着いたたらお願いするかもしれません(笑)。その時はお願いします。」



下世古くん、現役合格おめでとうございます。
今後の更なる活躍を期待しています。